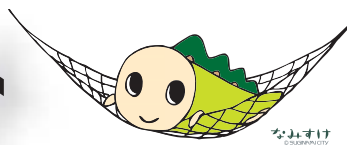




すぎなみ 教育報



No.199

平成22年12月3日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

新しい教育課程がはじまります

— 平成23年4月から小学校で新学習指導要領がスタートします —



来年度は、この間、算数・理科を始めとする各教科等において段階的に進めてきた新しい教育課程(教育計画)による週時程や授業等の全面実施の年となります。

各小学校や教育委員会では、10年に一度のこの改訂を学校教育の一層の充実の機会と捉え、研究・準備等を進めています。そして、子供たち一人一人の豊かな心、確かな学力と健やかな体を育て、高めるものになるよう、これまで以上の学校支援を今後も展開していきます。



主な変更点

授業時数の増加

- 国語・社会・算数・理科・体育の授業時数が平成20年度比、10%程度の増加となります。
- 週当たりのコマ数が低学年で週2コマ、中・高学年で週1コマ増加となります。

教育内容の充実

理数教育の充実

台形の面積の学習などの指導内容を充実します。反復(スパイラル)による指導、観察・実験、課題学習を充実します。

言語活動の充実

国語をはじめ各教科等で記録、説明、批評、論述、討論の学習を充実します。

外国語教育の充実

5、6年生で話すこと、聞くことを中心とした外国語活動(英語)を年間35時間実施します。

伝統や文化に関する教育の充実

国語、社会、音楽等の各教科や総合的な学習の時間等において日本の伝統・文化を取り上げる学習を充実します。

道徳教育の充実

道徳の時間を要として、各教科等において道徳教育を充実します。

体験活動の充実

発達の段階に応じて、自然体験活動、社会体験活動などを充実します。

新しい教育のスタートに向けた取組み

理科専科教員や理科支援員を中心に新しい理科学習を学ぶ



—永福南小学校—

専門性の高い「理科専科教員」や観察・実験などを支援する「理科支援員」を活用するなど、各学校で様々な取組みを行っています。

永福南小学校では、今回の改訂で新しく加えられた「風やゴムの力で動かそう」という単元の研究授業が理科専科教員と理科支援員との協力により実施されました。

この授業では、新学習指導要領で重点化されている「道徳教育の視点」の授業への反映の仕方についても研究が深められました。



「言葉の教育」の実施により言語活動の充実を図る

新学習指導要領では、国語をはじめ、各教科等で言語活動の充実を図ることが示されています。

そのような中、各教科等で話し合いや発表などによる言語活動の充実とともに、言葉についての感受性、理解力、読解力等をはぐくむことを目的に、平成21年度から杉並区が独自に開発した「言葉の教育」の教材を使用して、主に日本の名文や古典等の音読・暗唱などの言語活動を国語の時間に実施しています。



—新泉小学校—

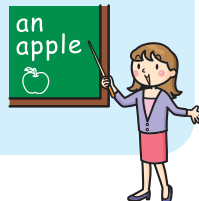
外国語活動のスムーズな実施に向けた学校支援

区教育委員会は、教員一人一人が外国語活動を不安なくスタートできるよう、以下の学校支援を行っています。

- J E T (日本人英語活動サポーター)とA L T (外国語指導員)を派遣し、各学級担任の授業支援を行っています。
- 和泉小学校など外国語活動の先進的事例をもとに「すぎなみ英語プログラム」を作成し、全担任教諭に配布しました。
- 済美教育センターでは、教員研修や小学校外国語活動支援チームを設置し、各小学校で行う研修会のサポートを行っています。



—和泉小学校—



中学校の新学習指導要領は、平成24年4月から全面実施されます。

問合せ:済美教育センター ☎3311-0021

地産地消

杉並の学校給食 おいしく食べて、学びます!!

地元野菜デー

学校給食の食材に、杉並区内の農産物を活用することにより、子供たちが農産物や都市の中の農業に関心を持つことを目的として、「地元野菜デー」を実施しています。7月と11月に、採れたての新鮮な地元野菜(大根、人参、長ねぎ、里芋、さつまいもなど)を杉並区内の生産者の方が、直接、学校へ納品してくれました。採れたての野菜の味は、また格別です!

安全・安心



地元野菜デーの様子

交流自治体農産物

杉並区の学校給食では「都市と農村の共生」をテーマに農と食の安全・安心を柱に学校給食で交流自治体農産物を活用しています。

福島県南相馬市新米コシヒカリ

新米のおいしい時期に、南相馬市のコシヒカリ(有機栽培米)が、多くの学校の給食で活用されています。南相馬市からお米の生産者と職員が三谷小学校ほか4校を訪問し、「新米紹介出前授業」が行われました。子供たちは自分たちがバケツで作った稲と南相馬市の稲を比較したり、もみすり体験なども行いました。生産者の方から農業を使わない有機栽培米を作る工夫や努力などを聞き、食べ物大切さや食の安全・安心、日本の食料需給率などについても考える機会となりました。

新米コシヒカリを使ったさつまいもごはんは、ねばりがあって甘くておいしいよ!

新米紹介出前授業の後は、屋上の芝生の上で、南相馬市の方を囲んで青空給食。

おいしい南相馬市新米コシヒカリをいただきました。(三谷小学校)

お米一粒一粒には、作り手の思いがこめられています。

お米を作った杉内さんの話を興味深く聞く子供たち。(松ノ木小学校)



北海道名寄市のじゃがいも

高円寺阿波おどりで区職員有志の「さざんか連」が、「名寄市友好賞」を受賞し、賞品としてじゃがいも(農林1号)100キロをいただきました。高円寺周辺の小学校4校に寄贈され、杉並第六小学校で名寄市職員による「じゃがいも出前授業」が行われました。

「農林1号」を使った給食、じゃがいもとベーコンのスープ



杉並第九小学校が東京都教育委員会表彰を受賞しました
11月6日(土) 東京都教育の日
東京都庁にて表彰式が行われました。

杉並第九小学校が平成22年度東京都教育委員会表彰(健康づくり功勞)学校給食分野において「健康づくり優秀学校」を受賞しました。

「食べ物に興味・関心をもてる子供を育てる学校給食」の取組みが高い評価を受けました。

食育レンジャーおにぎり隊参上!

栄養士・調理職員が給食の残菜を減らすために「おにぎり隊」となって各教室に出向き、ごはんをその場でおにぎりにして提供しています。子供たちに声かけすることで、「おいしく楽しく残さず食べよう!」とする意識が高まっています。(杉並第九小学校)

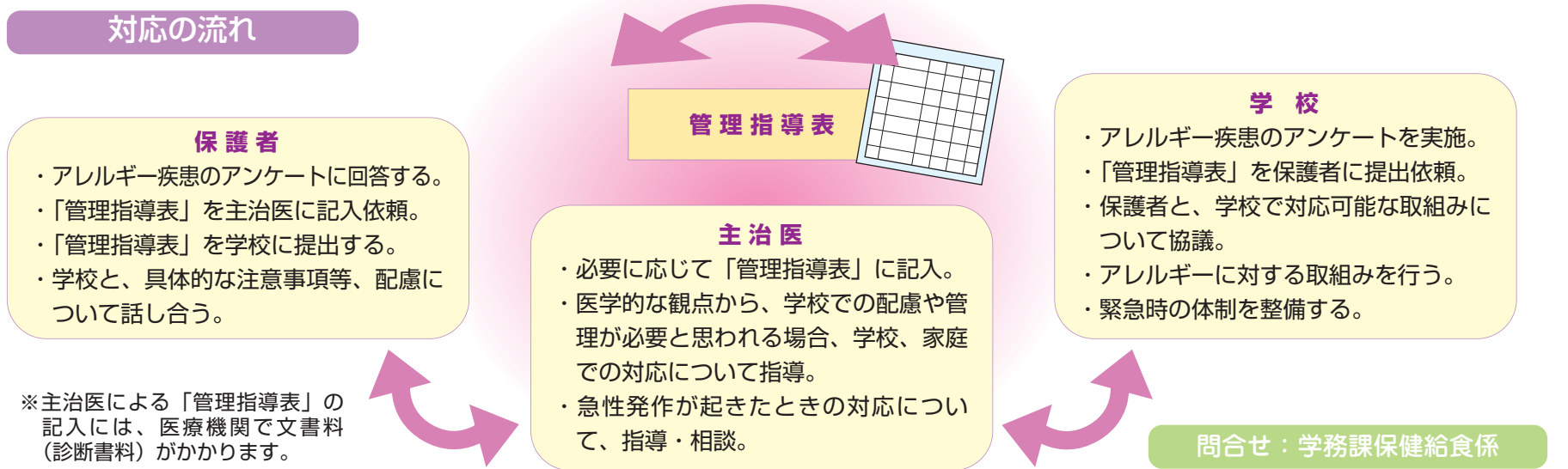


学校のアレルギー疾患に対する取組みについて

杉並区立小・中学校では、アレルギー疾患(気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、アナフィラキシー、その他)によって、学校生活において配慮を必要とする児童・生徒には、学校、保護者、主治医が連携して支援する取組みを行います。

すでにご家庭においてアレルギー疾患に対する管理を行っており、学校でも給食や運動の制限などが必要な場合には、**主治医が記載する「学校生活管理指導表」**(以下「管理指導表」という。)をもとに、学校と保護者が個別に相談をして具体的な対応をしていきます。

対応の流れ



はしか(麻しん)・風しんの予防をしましょう

はしかは感染力が大変強く、かかると高熱・せき・鼻水などの症状の後に、発疹が全身に広がります。また、肺炎や脳炎を引き起こすことがあり1000人に1人程度の割合で命を落とすことがある感染症です。自分が感染しないためだけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種を2回受けることが有効です。本年度が予防接種の該当年齢の方は、体調の良いときにははしか(麻しん)・風しんの両方を予防する混合ワクチンの予防接種を受けましょう。平成23年3月31日までは無料で受けられます。

- 麻しん・風しん第2期予防接種対象者 ……小学校入学前の1年間
- 麻しん・風しん第3期予防接種対象者 ……中学校1年生に相当する年齢
- 麻しん・風しん第4期予防接種対象者 ……高校3年生に相当する年齢

問合せ：学務課保健給食係・杉並保健所保健予防課 ☎3391-1025

地域に生きる！ みんなで話す！ 車座トーク

社会教育事業推進委員会（愛称：車座委員会）では、地域活動を実践する委員の問題意識からテーマを設定し、話題提供者を囲みながらみんなで話し合う「車座トーク」を実施しています。

「子供がいれば地域参加のきっかけも得やすいと思うのですが、単身者や夫婦二人では難しい。子供がいてもいなくても、地域に生きるということを考えてとき、今から少しずつ人と出会い、何かをやり続けていくことが大切だと感じています。ちょっとした仲間づくり、ちょっとした地域活動を、どう進めていけるか、取り組んでいきたいです。」

このような委員の発言を受けながら、「まちは子どものワンダーランドか！？～それって何なの？ミニ・ミュンヘン」というテーマで今年度第1回目を行いました。



今も昔も、子供はどんなところも遊び場に行けることに変わりはないけど、そうした場所を発見する目が弱くなっていると思う。

子供のための場づくりも大切ですが、子供を育てる大人のコミュニティも作るべき。

11月17日（水）に実施した第1回車座トークの様子。話題提供者は井出祥子さん（日本女子大学大学院博士課程・こどものまち研究）と、吉田阿津子さん（杉並冒険遊びの会）。

子供自身がまちをつくり自治を行う「ミニ・ミュンヘン」、子供が自由に遊ぶ「冒険遊び」といった事例に触れて気づいた両者の共通点は、「子供たちの自発性を見守る大人」たちがいること。「私自身はどんな形で地域の子供や大人たちに関わっていけるだろう？」…そんな一人ひとりの思いを出し合っていくと、これからの子育て環境や地域づくりのカタチが見えてきそうです。

「車座トーク」や「すぎなみしゃべり場」の詳細については、下記へお問い合わせください。
【問合せ】 社会教育センター 梅里1-22-32 ☎3317-6621 FAX 3317-6620 E-mail: shakyo-c@city.suginami.lg.jp

青年の自立 応援しています！

今年7月の内閣府の調査では、ひきこもりが70万人を超えるという推計結果が出ました。

それだけ現代の青年たちが抱える課題は多く、深刻な状況にあると言えます。

社会教育センターでは、不登校やひきこもりなどの問題を抱える青少年やその家族の解決の一助となるよう、話し合いや共同作業を通じて人間関係づくりを実践的に学ぶ居場所「しゃべり場」を提供しています。また関係各課や支援団体との意見交換会や、不登校に悩む子供たちを対象にした進路相談会「出会いの機会」など、本人だけでなく家庭の支援を視野に入れた講座を開催しています。

「すぎなみしゃべり場」では、同じような悩みを持つ仲間と、自由に話をしたり、時にはテーマを設けて意見を交わしたり、時には料理やスポーツを楽しみながら、自信を取り戻し社会に出るきっかけをつかむことを目指しています。

誰かと話をしたい方、友達が欲しい方、みんなと何かをしたい方、社会に一步を踏み出す機会としてお気軽にお問い合わせください。



【日 時】 原則毎週火曜日、午後6時～9時 ※年末年始・祝日等を除く。
【場 所】 セシオン杉並（梅里1-22-32）※地下鉄丸ノ内線東高円寺駅から徒歩5分
【参加費】 無料 【対 象】 16歳から35歳くらいまでの方
【申 込】 随時受け付けています。下記までお問い合わせください。

郷土博物館分館 区民参加型展示 「杉並に飛行機工場のあった頃」



中島飛行機時代の工場正門と本館建物。この写真の撮られた1950年代は富士精密工業でした。（写真提供：田中次郎氏）

「戦前まで区内に飛行機工場があったことを知っている人はもう少ないのではないだろうか。当時のことを調べて、その成果を多くの人々に知ってもらいたい。伝えたい。」という思いからこの展示は生まれました。企画したのは、開館当初から分館の運営に携わっている区民からなる「分館展示有志協力会」。メンバーは精力的に図書館での資料探しや、中島飛行機関係者から当時の話を伺う中で、当時を知る貴重な写真や情報を収集することができました。

このような成果をもとに博物館の学芸員と打合せを重ね、かつて桃井3丁目にあった「中島飛行機製作所」と戦後の変遷や、当時の工場周辺の街や生活の様子などを紹介する展示が完成しました。展示パネル、会場レイアウトもメンバー自身によるものです。

「地域と密着した活動を通じて、郷土への愛着を高める区民参加型の新しい展示」をぜひご覧ください。

期 間：平成23年1月23日(日)まで 開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日・休日の場合は開館し、翌日休館) 年末年始(12/28～1/4)
観覧料：無料 問合せ：郷土博物館分館（天沼3-23-1 天沼弁天池公園内） ☎5347-9801

学校支援本部探訪

地域の学校応援団！ — 天沼小学校支援本部 「あまぬまワンダラーズ」

子供の学習・課外学習・学校の運営。あまぬまワンダラーズは、この3つを「支援の柱」として授業コーディネーター、読書活動など、15のプロジェクトで活動中です。

その中のひとつ「教材づくり・掲示プロジェクト」では、先生からの依頼を受け、英語カルタなど授業で使う教材作りや書き初め展など作品展示の手伝いをしています。

また、児童に楽しんでもらおうと春はさくら、夏は海辺の景色など季節にあわせた飾りを作成・掲示し校内を明るく豊かに彩ります。これらは、全てメンバーがひとつひとつ丁寧に作るオリジナルの作品です。作業は家庭でもできるので、無理なく楽しく続けることができます。



掲示作業の風景



数え切れないほどの作品たち

この日は、来年1月から授業を行う新校舎の様子をいち早く伝えようと写真に飾りを付け、掲示しました。メンバーが廊下に張り出す作業を始めると、すぐさま児童が駆け寄り「これが私たちの新しい学校なんだね。」と嬉しそうに眺めていました。

あまぬまワンダラーズは、こうした活動の他にも日本の伝統・文化を伝承するための授業、キャリア教育など、天沼小学校の特色ある教育活動の支援に力を入れています。

地域に根ざした人たちが集まり、それぞれの立場からできることを行い、教育活動や学校運営を継続的にサポートする。まさに、これこそ「地域の学校応援団」です。



大圓寺

写真展「杉並史跡散歩 —博物館周辺を歩こう！—」

今回の展示は、博物館から歩いてめぐることができる史跡や文化財を写真で紹介します。また、普段公開していない文化財や現在見ることができない遺跡発掘時の様子も一緒に展示します。これをきっかけに杉並の歴史や文化にふれる散歩をしてみたいはかがでしょうか。

期間：平成23年3月6日（日）まで 開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日（祝日・休日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12月28日～1月4日） 観覧料：100円（中学生以下は無料） 問合せ：郷土博物館（大宮1-20-8） ☎3317-0841

開催します!!

杉並区中学校対抗駅伝大会2010 走る喜びをつなげよう

杉並区中学校対抗駅伝大会2010の開催までもうすぐ、今年も区内公立・私立の中学校に加え、青梅市からの招待チームが参加し、沿道の皆さんに走る楽しさと感動を伝えます。

開催日時：平成22年12月12日（日）（荒天中止）

開会式：午前9時30分

男子の部スタート：午前10時 女子の部スタート：午前10時10分

閉会式：午前11時30分

スタート・ゴール：都立和田堀公園競技場（大宮2-26）

※コース等は11月21日発行の広報すぎなみをご覧ください。

応援する方へお願い!

自転車での併走は非常に危険です。絶対にやめてください。

選手の通過に合わせて交通規制が行われます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ：社会教育スポーツ課

すぎなみ教育シンポジウム 「子供たちの『生きる力』を育むために」

区教育委員会では、地域に開かれ地域に支えられる学校づくりを目指して、地域運営学校（コミュニティ・スクール）と学校支援本部の拡充に取り組むとともに、子供たちの「生涯の基盤づくり」のために小中一貫教育を推進しています。

子供たちの未来の土台づくりとなる小中9年間において、「生きる力」を育むために必要なもの、今年度は特に現代の子供たちの健康・体力の現状に焦点をあて、これからの子供たちの健康な体を育むために家庭や地域、大人の関わり方において何が必要なのかを共に考える機会とするため、シンポジウムを開催することとしました。

【日時】平成23年1月15日（土）午後1時～4時30分（開場：午後0時30分）

【会場】セシオン杉並 ホール（梅里1-22-32）【定員】570名（先着順）

【費用】無料 【申込】当日、直接会場へお越しください。

～プログラム～

○第1部 午後1時5分～2時 地域運営学校・学校支援本部の事例発表

○第2部 午後2時10分～4時30分

基調講話 教育長 井出隆安／パネルディスカッション（公開討論会）

問合せ：教育改革推進課

地域で作り上げた 和紙キャンドルナイト



日本の豊かで多様な伝統文化に子供たちがもっと触れあってほしい、という思いから杉並第一小学校と同校学校支援本部、多摩大学村山貞幸ゼミが中心となり、11月13日（土）「和の創造～和紙キャンドルナイト」が阿佐ヶ谷神明宮で開催されました。

当日飾られた和紙キャンドルは、約2000個。これらは和紙作りから始め、学校と支援本部だけではなく、町会、PTAに加え、近隣の杉森中学校と私立世尊院幼稚園の生徒・園児も参加し、まさに、地域を挙げてのイベントとなりました。

みんなで作った和紙キャンドルがまたたき、やさしい光を放つ中、境内では琴・尺八の演奏や能の上演が行われ、伝統的な和の音色に包まれた空間に世代を問わずたくさんの方が集まりました。



教育委員が行く、見る、聞く。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校等にも足を運び、教育の今を見聞しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。

沓掛小学校の研究主題は「自ら考え、伝え合う児童の育成～ICT活用と算数科の授業を通して～」。昨年度はICTの効果的な活用について全教科で研究を進め、今年度は教科を算数科に絞り、児童の考える力、表現力、コミュニケーション力の育成を目指して、さらに有効なICTの活用について研究を深めています。

全学年で行われた公開授業では、それぞれの教室で問題を視覚的にわかりやすく提示したり、子供たちのノートを投影して、いろんな考え方を共有するなど、ICTを効果的に活用した授業が披露されました。また、最初は少人数で、続いてクラス全体で話し合うこ

とにより意見を出しやすくするなど、伝え合う工夫が各教室で行われていました。

井出教育長は各教室を回り、ICTを活用して子供たちが学びあい、伝え合う様子を見届けていました。



平成22年11月12日、井出教育長が沓掛小学校（平成21・22年度杉並区教育委員会教育課題研究指定校）の研究発表会を訪れ、公開授業や研究発表を参観しました。

写真の二人は今、0.2 l の4倍を求めるのにはどうすればいいか考えているところです。

「0.2 l は 2 dl だから 2 dl × 4 = 8 dl」

「うん、うん」

「8 dl は 0.8 l だから 0.2 × 4 = 0.8」

「10倍して l にして、また dl にもどせばいい」

「なーるほど、そういうことか」

この写真を見ていると、そんな二人のやり取りが聞こえてきませんか。

こうした様子やノートに書かれた図や式をプロジェクターで全体に提示すれば、みんなで考え合うこともできます。

インターネットが普及し、電子黒板やデジタル教科書等、教育用に開発されたICT機器やコンテンツも増えてきました。それらの特長や性能をよく研究して効果的に活用することにより、児童の考える力や調べる力、表現する力や伝える力をもっともっと伸ばしていくことが期待されます。

— 井出教育長から —

教育委員会の動き（22年9月～10月）

【教育委員会開催状況】 ・ 定例会 3回 ・ 議案 5件 ・ 報告事項 9件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

◎杉並区立社会教育センター条例施行規則の一部を改正する規則

◎教育財産の取得の申出について

○指定管理施設の年末年始の開場及び年始特別営業について

○平成22年度学校支援本部新規設置校への財政支援について

○平成21年度における児童・生徒の問題行動等の実態について（調査結果資料）

◎杉並区教育委員会職務権限規程の一部改正

◎杉並区立子供園条例施行規則の一部を改正する規則

○学校希望制度の申請状況

○図書館の正月開館について

●再生紙を使用しています